

列車の間隔について

FUKAWA, Masami / 布川, 正巳

(出版者 / Publisher)

法政大学工学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

Bulletin of the Faculty of Engineering, Hosei University / 法政大学工学部
研究集報

(巻 / Volume)

1

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

4

(発行年 / Year)

1964-05

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00004297>

列車の間隔について

研究助手 布川正巳 (基礎学科)

A Certain Estimate for the Interval between Trains

Masami Fukawa, *Research Assistant*

§1. 問題

本稿は、国鉄保線区の人からの要請に応じて、考えたものである。

ある地点で、1日に N 本の列車が通ることはわかっているが、そのダイヤがどのように組まれるかわかっていない。保線作業には t 分以上の時間間隔が必要であるが、そのような時間間隔が得られる確率を求めたい。

これが問題である。列車1本あたりの平均通過時間の N 倍を 24 時間から引き、(もし、どんなダイヤが組まれても、列車の時間間隔が必ず t_0 分以上であることがわかっているならば、 Nt_0 分をさらに引き) 残った時間を時間の単位として 1 としよう。 t 分 (あるいは $(t-t_0)$ 分) をこの単位で測った数値を a とする。そうすれば、問題は、時間間隔を表わす N 個の確率変数 x_1, x_2, \dots, x_N について、

$$B: \quad x_1 + x_2 + \dots + x_N = 1, \quad 0 \leq x_i \leq a \quad (i=1, \dots, N)$$

となる確率 $1-p$ を求めることとなる。(p が最終的に求めたい確率である。)

確率を求めるには、 x_1, x_2, \dots, x_N の分布を知らなければならないが、それについて何もわかっていないので、これらは random であると仮定しよう。すなわち、 N 次元ユークリッド空間内の超平面上の区域

$$A: \quad x_1 + x_2 + \dots + x_N = 1, \quad 0 \leq x_i \quad (i=1, \dots, N)$$

上で一様分布する確率変数 (x_1, x_2, \dots, x_N) の値が B に含まれる確率を $1-p$ としよう。いいかえれば、この超平面上での通常的面積 (ルベーク測度) を m とすれば、

$$1-p = \frac{m(B)}{m(A)}$$

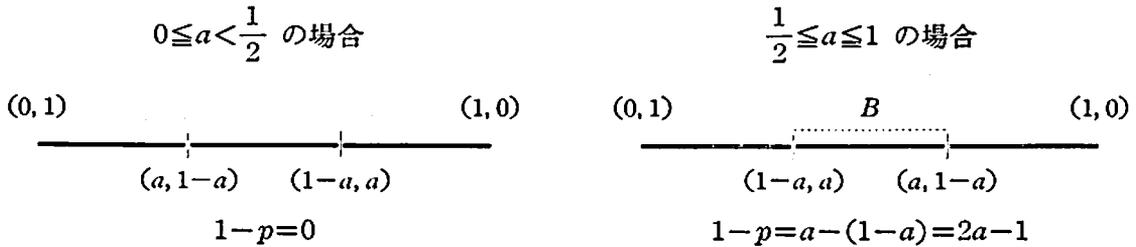
となる。

§2. $N=2, 3, 4$ の場合についての試み

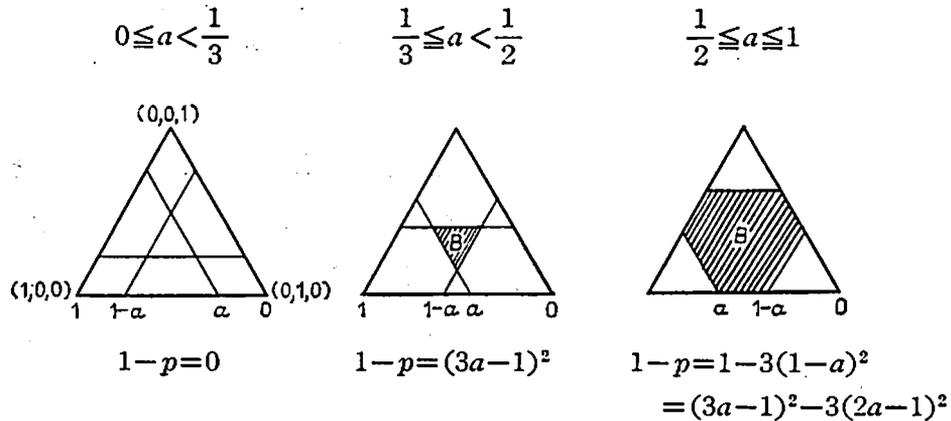
N の値が小さいときには、幾何学的に p を簡単に求めることができる。これらを求めることは、 p の幾何学的意味を理解するためばかりでなく、次項で求める一般の場合の公式を check す

るためにも必要であろう。

$N=2$ の場合: A は, 2 点 $(0, 1)$ と $(1, 0)$ を結ぶ線分となり, B は, $a < \frac{1}{2}$ ならば空集合, $\frac{1}{2} \leq a \leq 1$ ならば, 次図のような A 上の線分となる。



$N=3$ の場合, A は正三角形となる。



$N=4$ の場合, A は正四面体となる。その 1 辺の長さを 1 としよう。

$0 \leq a < \frac{1}{4}$ ならば, B は空集合, 従って $1-p=0$ 。

$\frac{1}{4} \leq a < \frac{1}{3}$ ならば, B は 1 辺 $4a-1$ の正四面体となる。従って $1-p=(4a-1)^3$ 。

$\frac{1}{3} \leq a < \frac{1}{2}$ ならば, B は, 1 辺 $4a-1$ の正四面体の 4 隅から, 1 辺 $3a-1$ の正四面体を切りとった残りの図形となる。従って $1-p=(4a-1)^3 - 4(3a-1)^3$ 。

$\frac{1}{2} \leq a \leq 1$ ならば, B は, A の 4 隅から, 1 辺 $1-a$ の正四面体を切りとった残りの図形となる。従って, $1-p=1-4(1-a)^3$ 。

§ 3. 一般の場合

$m(A)$, $m(B)$ を求める代りに, A, B の, 超平面 $x_N=0$ 上への正射影 A', B' の面積 $m(A')$, $m(B')$ を求めて,

$$1-p = \frac{m(B')}{m(A')}$$

としてもよい。

簡単のため、 $n=N-1$ とおき、 n 以下の各自然数 r に対して、

$$S(r) = \sum_{i=1}^r x_i$$

とおけば、

$$\begin{aligned} m(A') &= \int_{A'} dx_1 \cdots dx_n \\ &= \int_0^1 dx_1 \int_0^{1-S(1)} dx_2 \int_0^{1-S(2)} dx_3 \cdots \int_0^{1-S(n-1)} dx_n \\ &= \frac{1}{n!} \end{aligned}$$

次に $m(B')$ を求める。以下の積分は、すべて区域 $0 \leq x_i \leq a$ ($i=1, \dots, n$) の部分集合の上で行なわれるが、記法を簡単にするため、この区域内であることをいちいち書かないことにする。

そうすれば、

$$\begin{aligned} m(B') &= \int_{B'} dx_1 \cdots dx_n \\ &= \int_{1 \geq S(n) \geq 1-a} dx_1 \cdots dx_n \end{aligned}$$

ここで、

$$\begin{aligned} &\int_{1-(a-1)a \geq S(r) \geq 1-aa} F(x_1, \dots, x_r) dx_1 \cdots dx_r \\ &= \int_{1-(a-1)a \geq S(r-1) \geq 1-aa} dx_1 \cdots dx_{r-1} \int_0^{1-(a-1)a-S(r-1)} F dx_r \\ &+ \int_{1-aa \geq S(r-1) \geq 1-(a+1)a} dx_1 \cdots dx_{r-1} \int_{1-aa-S(r-1)}^a F dx_r \end{aligned}$$

に注意して、 $m(B')$ を累次積分で表わせれば、

$$\begin{aligned} m(B') &= \sum_{\nu=0}^{n-1} \left[\int_{1-\nu a \geq x_1 \geq 1-(\nu+1)a} dx_1 \left\{ \sum_{n \geq i_1 > i_2 > \dots > i_\nu \geq 2} \left(\int_0^{1-\nu a-S(1)} dx_2 \right. \right. \right. \\ &\times \int_0^{1-\nu a-S(2)} dx_3 \cdots \int_0^{1-\nu a-S(i_\nu-2)} dx_{i_\nu-1} \int_{1-\nu a-S(i_\nu-1)}^a dx_{i_\nu} \\ &\times \int_0^{1-(\nu-1)a-S(i_\nu)} dx_{i_\nu+1} \cdots \int_0^{1-(\nu-1)a-S(i_\nu-2)} dx_{i_\nu-1} \int_{1-(\nu-1)a-S(i_\nu-1)}^a dx_{i_\nu-1} \\ &\times \dots \\ &\times \int_0^{1-a-S(i_2)} dx_{i_2+1} \cdots \int_0^{1-a-S(i_1-2)} dx_{i_1-1} \int_{1-a-S(i_1-1)}^a dx_{i_1} \\ &\left. \left. \left. \times \int_0^{1-S(i_1)} dx_{i_1+1} \cdots \int_0^{1-S(n-1)} dx_n \right) \right\} \right] \end{aligned}$$

ここで、2 番目の \sum は、 $n \geq i_1 > i_2 > \dots > i_\nu \geq 2$ となるような ν 個の自然数 i_1, i_2, \dots, i_ν のあらゆるとり方にわたるのである。(従って、この \sum の中は、 $\binom{n-1}{\nu}$ 個の項から成る。) 以下、こ

の意味の $\sum_{(i,\nu)}$ を, $\sum_{(i,\nu)}$ と書き表わす.

上の積分を逐次実行すれば,

$$m(B') = \sum_{\nu=0}^{n-1} (-1)^\nu \sum_{(i,\nu)} \int_{1-\nu a \leq x_1 \leq 1-(\nu+1)a} \left\{ \sum_{\lambda=0}^{\nu} \frac{b_\lambda}{(i_\lambda-2)!} (1-\nu a - x_1)^{i_\lambda-2} dx_1 \right.$$

ただし, $i_0 = n+1 = N$ とし, また, b_0, b_1, \dots, b_ν は,

$$b_0 = 1, \quad b_\lambda = - \sum_{\mu=0}^{\lambda-1} \frac{b_\mu a^{i_\mu - i_\lambda}}{(i_\mu - i_\lambda)!} \quad (\lambda = 1, \dots, \nu)$$

によって定められる数である.

ここで, x_1 についての積分範囲は, くわしく書けば,

$$0 \leq x_1 \leq a, \quad \text{かつ} \quad 1 - (\nu+1)a \leq x_1 \leq 1 - \nu a$$

で定まる範囲である. 今 k を,

$$\frac{1}{k+1} \leq a \leq \frac{1}{k} \quad \begin{array}{ccc} 1-(k+1)a & 1-ka & 1-(k-1)a \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ 0 & & a \end{array}$$

みたす自然数とすれば, 上の積分区間は,

$$\left\{ \begin{array}{ll} \nu = k & \text{に対しては,} \quad 0 \leq x_1 \leq 1 - ka. \\ \nu = k-1 & \text{に対しては,} \quad 1 - ka \leq x_1 \leq a. \\ \text{その他の } \nu & \text{に対しては,} \quad \text{空集合.} \end{array} \right.$$

となる. ゆえに

$$\begin{aligned} m(B') &= \sum_{\nu=k-1}^k (-1)^\nu \sum_{(i,\nu)} \int_{u(\nu)}^{v(\nu)} \sum_{\lambda=0}^{\nu} \frac{b_\lambda}{(i_\lambda-2)!} (1-\nu a - x_1)^{i_\lambda-2} dx_1 \\ &= \sum_{\nu=k-1}^k (-1)^{\nu+1} \sum_{(i,\nu)} \sum_{\lambda=0}^{\nu} \frac{b_\lambda}{(i_\lambda-1)!} \left[(1-\nu a - x_1)^{i_\lambda-1} \right]_{u(\nu)}^{v(\nu)} \end{aligned}$$

ただし

$$\left\{ \begin{array}{l} u(k) = 0 \\ v(k) = 1 - ka \end{array} \right. \quad \left\{ \begin{array}{l} u(k-1) = 1 - ka \\ v(k-1) = a \end{array} \right.$$

これを計算すれば, 最終的な結果が得られる. すなわち,

$$\frac{1}{k+1} \leq a \leq \frac{1}{k} \quad \text{とし, } 1 - ka = d \quad \text{とおけば,}$$

$$1 - p = \frac{m(B')}{m(A')} = (-1)^k (N-1)! \left\{ \sum_{(i,k)} \sum_{\lambda=0}^k \frac{b_\lambda}{(i_\lambda-1)!} d^{i_\lambda-1} + \sum_{(j,k-1)} \sum_{\lambda=0}^{k-1} \frac{c_\lambda}{(j_\lambda-1)!} (d^{j_\lambda-1} - a^{j_\lambda-1}) \right\}.$$

ただし,

$$\begin{aligned} i_0 = N, \quad b_0 = 1, \quad \sum_{\mu=0}^{\lambda} \frac{b_\mu}{(i_\mu - i_\lambda)!} a^{i_\mu - i_\lambda} &= 0 \quad (\lambda = 1, \dots, k) \\ j_0 = N, \quad c_0 = 1, \quad \sum_{\mu=0}^{\lambda} \frac{c_\mu}{(j_\mu - j_\lambda)!} a^{j_\mu - j_\lambda} &= 0 \quad (\lambda = 1, \dots, k-1). \end{aligned}$$